

風早北部地域ふるさと協議会
防犯防災部
第3回防災活動に関する意見交換会

ご あ い さ つ

今月上旬以降、新型コロナウイルス感染症罹患者が、オミクロン亜種株の猛威によってほぼ全国で激増となり、各自治体レベルで新規陽性者数が更新を記録しています。柏市も例外に漏れず、今年早々の第6波を超える勢いで当面推移するであろうことを覚悟しなければなりません。

防災面では、今年も大雨洪水被害が全国各地で発生し、柏市も決して風水害に対する免罪符がないことを改めて申し上げます。次回（8月27日）には、こうした状況を想定した災害時の避難行動を机上で学ぶ機会を、感染症の拡大リスクが回避できるような環境下で実施する予定でありますので、今回の会議中に詳しく案内申し上げます。

防犯面では、先般元首相の暗殺事件が発生し、全国に衝撃を与えました。既にマスクミを通じ非難的は、犯人以上に警護を受け持つ警察組織に注がれています。先般柏警察署長が住民代表者の集まる機会での犯罪発生情勢につき発言があり、その中で「柏警察署管内の犯罪発生件数が千葉県で第一位・相談受信件数が全国で第四位である」との衝撃的内容でした。同署長は市民への防犯意識の向上、現状への警戒を呼び掛ける意図で発言された模様ですが、警察組織としての犯罪抑止への取組み、彼らの事件解決力（捜査能力）はどうなの？との疑問が個人的には生まれています。柏市担当部署の日々の犯罪抑止に向けた活動も市民に見える内容には決してないことで事実上、警察組織の下請け業務なのは？との印象が強いことを、是非皆さんも共有いただきますようお願い申し上げます。

本日は、感染症の影響で、予定していた意見交換や協議中心の議題を取り止め、前回に続き当部からのご案内を主体に進めて参りますが、会議後に、今期の各団体の防災訓練活動の予定につきヒアリングや、緊急連絡訓練もオプションで実施しますので、遠慮なくご照会、ご参加をお願い申し上げます。

令和4年7月23日
風早北部地域ふるさと協議会
防犯防災部長
古山 博之

朱書き箇所を会議配付資料から修正